塾長メッセージ　　2014 年 10 月 9 日（木）

英検（実用英語技能検定）３級、準２級、２級受験の皆様へ

開倫塾
塾長　林明夫

１．先手必勝、早め早めの準備こそが、英検をはじめとするあらゆる学習に求められます。

２．10 月 11 日に英検 3 級や準 2 級、2 級、準 1 級を受験する塾生全員は、「面接試験教材」の学習方法を身に着けたうえで、遅くとも 11 日の英検試験直後から面接試験教材の長時間学習を開始するようにお願いいたします。

３．英検面接試験対策としては、次の 4 つの方法で学習することが大切です。

４．第 1 番目になすべきことは、数年分の面接カードの問題文を一問ずつ丁寧に音読し、CD で質問を聞いたうえで、CD がなければ質問文を音読したうえで、解答を自分で考え、大きな声を出して言うことです。

５．第２番目には、そのようにして、一度解答したカードについて、
（１）スラスラとよく読めるようになるまで音読練習をする。
（２）その後に、試験官から出される問題文もスラスラとよく読めるようになるまで音読練習をする。
（３）そして、正解を大きな声を出して音読する。
（４）解説文を熟読後、解説文の英語の部分がスラスラとよく読めるようになるまで音読練習をする。

６．第 3 番目には、「面接カードの問題文」・「正解」・「解説文」の三者すべてについて、
（１）意味のよくわからない語句、発音の仕方がよくわからない語句についてマークする、印をつける。
（２）マークし、印をつけた語句について、英和辞典や英英辞典を用いて調べる。
（３）調べた内容は、ノートの左側に英語、右側に日本語の「英語（語句）ノート」に書き写す。
（４）同時に、面接カードの問題文・正解・解説文の三者について、覚えるべき語句にマークし、印をつけ、「英語（語句）ノート」にすべて書き写す。
（５）書き写した内容は、ノートの左側の英語を見て、日本語が言えるようにする。
（６）ノートの右側の日本語を見て、英語が言えるようにする。日本語を見て、英語が書けるようにする。
（７）このように、一度解いた面接試験に出題された英語は、問題文・正解・解説文に至るまですべて覚える。
（８）「英語（語句）ノート」の右側の日本語を見て、左側の英語がさっと口をついて出るまでにする、また、正確に書けるまでにする。

７．第４番目には、

（１）面接試験開始直前まで、1 番目から 3 番目までの学習を一度以上行った面接カードを繰り返し、繰り返し音読し、正解・解説文の英語を声を出して言ってみる。

（２）つまり、面接試験教材の 1 ページ目から学習し終えたページまで、問題文・正解・解説文の中の英語を、毎日毎日、音読し続ける。

以上が、英検 3 級以上の面接試験の準備の方法です。

８．最後に一言。

（１）開倫塾の社会的使命は、塾生の皆様が「自主的に学ぶ力」という意味での「学力」を身に着けることで、「多様な選択肢のある人生を歩む」ことを応援することです。

（２）この一度学習したことをスミからスミまで身に着けるという英語の学習方法は、英検の面接試験に役立つだけではありません。一生涯活用できる英語を身に着ける方法の一つです。

（３）もちろん、学校の授業や定期テスト、模擬試験、入学試験にも役立ちます。学校の定期テストの英語で 100 点満点を取ったり、模擬試験で偏差値 70 以上を取ったりするための学習方法でもあります。

（４）英語以外の外国語を、短期間で確実に身に着ける有力な学習方法の一つです。

是非、お試しください。

以上